

# 標語例

(あくまでイメージの一例です)

## 一般の方向け

(家庭・育児)

- ・「手伝うよ」その一言がひとごと(他人事)の証拠。
- ・家事育児「名もなき仕事」に 性別なし。
- ・男の育休、女のキャリア、お互い様でみんなが輝く。
- ・「ママがいい」それってパパの 逃げ道ですか？
- ・台所、パパの背中も、かっこいい。

(職場・社会)

- ・能力に 性別はなし、適材適所。
- ・お茶くみも、力仕事も、できる人がやる職場。
- ・「女性の視点」という枠さえ、もういらぬ。
- ・「女の子だから」と奪うチャンス、「男だから」と課すプレッシャー。
- ・これまでの「あたりまえ」、これからの「お荷物」にしない。

(意識・日常のモヤモヤ)

- ・「男らしく」「女らしく」より、私らしく。
- ・ピンクが好き、ブルーが好き、何色だって僕たちの色。
- ・「普通はね」その普通で 誰かを縛っていませんか？
- ・涙を流す男がいてもいい、弱音を吐けない社会が苦しい。
- ・誰かの「当たり前」が、誰かの「生きづらさ」になっている。

(次世代へつなぐ標語)

- ・大人の背中を見て育つ、偏見のない自由な未来。
- ・言葉のトゲ、「男のくせに」「女の分際で」をゼロに。
- ・気づこうよ、心に潜む アンコンシャスバイアス(無意識の思い込み)。
- ・私たちが変える意識、子どもたちが生きる未来。
- ・性別で 夢をあきらめる時代は、私たちの世代で終わりにしよう。

### 一般のみなさんへ

大人が無意識に受け入れてきた「男だから」「女だから」という古い当たり前は、知らず知らずのうちに子どもたちへ受け継がれてしまいます。

次の世代に、より自由で、誰もが息をしやすい社会を手渡すために、私たち大人が意識を変え、アートの力でメッセージを発信してみませんか？

